

平成27年第3回
組合議会定例会議事録

招集日 平成27年8月17日

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

ふじみ衛生組合議会

平成27年第3回 組合議会定例会議事録

招集日 平成27年8月17日(月)

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

1. 出席議員(10名)

1番 井上耕志

2番 宮本和実

3番 田中久和

4番 小林市之

5番 林明裕

6番 寺井均

7番 高谷真一朗

8番 野村羊子

9番 吉野和之

10番 森徹

2. 欠席議員(0名)

3. 出席説明員

管 理 者	清 原 慶 子	副 管 理 者	長 友 貴 樹
参 与	内 田 治	参 与	小 林 一 三
総 務 主 幹	清 水 富美夫	総 務 主 幹	柏 原 公 毅
清 掃 主 幹	井 上 仁	清 掃 主 幹	上 野 洋 樹
人 事 主 幹	井 上 忍	文 書 主 幹	一 條 義 治
財 務 主 幹	石 坂 和 也	契 約 ・ 検 査 主 幹	刀 祢 平 秀 輝
会 計 管 理 者 ・ 出 納 主 幹	鈴 木 恵 子	監 事 務 局 長	池 田 宏 太 郎
事 務 局 長	井 上 稔	事 務 局 次 長	齊 藤 忠 慶
総 務 課 長	荻 原 正 樹	施 設 課 長	深 沢 典 充

午前9時57分開会

○議長（田中久和君） 皆様、おはようございます。これより平成27年第3回ふじみ衛生組合議会定例会を開会いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。

日程第1 会期の決定

○議長（田中久和君） 日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。会期は、本日1日といたします。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（田中久和君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日とすることに決定いたしました。

日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（田中久和君） 続きまして、日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第36条の規定により、2番宮本和実議員及び6番寺井均議員を指名いたします。

日程第3 管理者報告

○議長（田中久和君） 続きまして、日程第3、管理者報告に入ります。それでは、管理者お願いいたします。

清原管理者。

○管理者（清原慶子君） 皆様、おはようございます。

暦の上では秋を迎えましたけれども、まだまだ厳しい残暑が続いておりますし、今年の夏はほんとうに天候不順で、昨夜から三鷹市、調布市両市には大雨洪水警報が断続的に発令されておりました、両市とも一定の対応をとっているところです。被害がなければと取り組んでおります。

さて、議員の皆様におかれましては、両市の定例議会を控えまして、何かとご多用の中、平成27年第3回ふじみ衛生組合議会定例会をお願い申し上げまして、恐縮に存じております。

それでは早速、管理者報告に入らせていただきます。本日、ご報告申し上げます事項は3件でございます。

ご報告の第1件目は、ごみ処理実績についてでございます。

平成27年度第1・四半期の状況でございます。なお、重量につきましては、小数点以下を四捨五入いたしましてご報告させていただきますので、ご了承をお願い申し上げます。

初めに、資料-1をごらんください。クリーンプラザふじみの平成27年4月から6月までの処理実績でございます。この3カ月間の総搬入量は1万7,709トンでございます。前年度と比較いたしますと384トン、2.1%の減となっております。その内訳といたしましては、三鷹市が7,312トンで、構成比46.4%、前年度比102トン、1.4%の減、調布市が8,441トンで、構成比53.6%、前年度比16トン、0.2%の減となっております。そのほか、リサイクルセンターにおける処理後の可燃性残渣の搬入につきましては1,956トン、前年度比266トン、12.0%の減となっております。

一方、この3カ月間で1万3,739トンを焼却処理いたしました。発電に伴い、電力事業者へ4,678メガワットアワーを売電するとともに、焼却灰等1,611トンを搬出いたしました。

なお、本年4月、売電先の電力事業者をオリックス株式会社からアーバンエナジー株式会社に変更いたしました。単価につきましては、約50銭下がりました。平均で18円34銭となりました。

次に、資料-2をごらんください。リサイクルセンターの平成27年4月から6月までの処理実績でございます。この3カ月間の総搬入量は4,624トンでございます。前年度と比較いたしますと130トン、2.7%の減となっております。その内訳といたしましては、三鷹市が2,370トンで、構成比51.3%、前年度比60トン、2.5%の減、調布市が2,253トンで、構成比48.7%、前年度比70トン、3.0%の減となっております。

なお、ごみ処理実績の詳細につきましては、事務局長より後ほど補足説明をいたさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

ご報告の第2件目は、視察・見学の状況についてでございます。

初めに、夏休み親子見学会等の実施に伴う見学の状況でございます。資料-4をごらんください。昨年と同様に、ことしも学校の夏休み期間中に、夏休み親子見学会及び特別展示を実施しています。見学会につきましては、既に、7月23日、30日、8月6日の

3回開催いたしました。8月20日、27日も開催を予定しています。特別展示につきましては、8月末まで2階見学フロアに「煙突のできるまで」とのテーマでパネルを設置するほか、ごみ収集車の構造を紹介するなど、子供たちに興味を持って楽しんでいただけるよう、工夫を凝らしたところでございます。

親子見学会の参加者につきましては、3回の開催で大人29人、子供41人、合計で70人の参加となっています。また、特別展示に伴う個人見学につきましては、7月21日から8月10日までの平日15日間で66人、1日平均4.4人となっています。本年6月の見学者は、1日平均で約0.7人ということでございますので、6倍以上の増となっています。

続きまして、国際協力についてでございます。

JICA（国際交流機構）の要請により、7月に開発途上国の研修等を受け入れたことは既にご報告させていただきました。引き続き、4件の協力依頼がありましたので、ご報告申し上げます。

1つは、ヤンゴン廃棄物処理改善共同プロジェクト・フェーズ2でございます。明日、8月18日にヤンゴン市職員7名が、ふじみ衛生組合を訪問されます。施設紹介など講義を1時間程度実施した後、クリーンプラザふじみ及びリサイクルセンターの見学を予定しています。ヤンゴン市との交流は3年目を迎え、可燃処理施設のみならず、不燃ごみを含めた廃棄物処理全般がテーマとなりました。日本国内では、リサイクル率が高い三鷹市、調布市両市の取り組みを含めまして、私どもの廃棄物処理行政のシステムがヤンゴン市の事務事業改善の一助になれば幸いです。

また、8月26日にはパレスチナ、9月16日にはパキスタン、10月6日にはイランの研修を受け入れることとなっています。詳細は今後調整することになりますが、焼却施設の建設運営等に関する講義と見学を予定しているところです。

このように、外国の政府機関等の視察・研修の依頼を数多くいただいています。それぞれ国情は異なりますが、適正な廃棄物処理行政に取り組むことは世界共通の課題です。ふじみ衛生組合の経験を生かしまして、最大限の協力を行ってまいります。

ご報告の第3件目は、地元協議会についてでございます。

7月23日に第41回地元協議会を開催いたしました。ごみ処理実績や環境測定結果を報告するとともに、「第3回ふじみまつり」や施設敷地を活用した花いっぱいプロジェクトなど、市民の皆様との協働事業について協議を行いました。

詳細につきましては、事務局長に補足説明をいたさせます。

なお、次回の会議は10月8日に予定していますが、委員の任期2年が11月3日をもって満了いたしますので、11月には新たな委員による地元協議会を開くこととしています。

私からの報告は以上でございます。それでは、事務局長より補足説明いたさせますので、よろしく願いいたします。

○議長（田中久和君） 井上事務局長。

○事務局長（井上稔君） おはようございます。

私からは、管理者報告につきまして、3件の補足説明をさせていただきます。

第1件目、ごみ処理実績についてでございます。

資料-1をお願いいたします。クリーンプラザふじみの平成27年4月から6月までの3カ月間の状況でございます。搬入実績につきましては、前年度比と比較いたしまして、総量で約384トン、2.1%の減少となりました。

その内訳を見ますと、三鷹市、調布市で同様の傾向にございますが、家庭系及び事業系、いわゆる持ち込みに区分されるものがともに減少いたしておりまして、直営及び粗大が微増となっております。これによりまして、両市合計で0.7%の減少となりました。さらに、リサイクルセンターからの可燃性残渣につきましても、約266トン、12.0%減少いたしました。これは後ほど報告申し上げます不燃ごみの減少とともに、リサイクルセンター中央棟のコンベア更新工事が完了し、容器包装リサイクル・プラスチックの資源化量が増加したことによるものでございます。

搬出実績につきましては、前年同期と比較いたしまして、約82トン、4.8%減少いたしました。これは、搬入量の減少に比例して、焼却量が減少したことによるものでございます。

次に、資料-2をごらんください。リサイクルセンターの平成27年4月から6月までの3カ月間の状況でございます。搬入実績につきましては、引き続き減少傾向となっております。ただし、三鷹市、調布市両市に共通することになりますが、ペットボトルの搬入量だけは増加をいたしておりまして、これは、平年に比べ気温の高い日が多く、飲料水の消費量が伸びたものと考えているところでございます。

搬出実績につきましては、まず、左側の有償・無償の資源物から申し上げます。総量は

前年同期と比べ、約120トン、5.1%の増となっております。この主な要因は、クリーンプラザふじみの可燃性残渣の搬入量の減と連動いたしますが、14番の容リ・プラスチックが約104トン増加したことによるものでございます。その他の増減につきましては、搬出時期によるものではないかと捉えているところでございます。

続きまして、右側の逆有償の資源物搬出の欄をごらんください。前期同様、プラスチック類を含む可燃性残渣につきましては、クリーンプラザふじみにおきまして、全て焼却処理し、熱回収いたしました。水銀を含む有害廃棄物及び処理困難物につきましては、逆有償での処分となりました。廃乾電池等の搬出量が減少していますが、不燃や資源物の搬入総量の減少に比例して減少しているものと分析しているところでございます。なお、処理困難物につきましては、廃消火器などを処理したものでございます。

続きまして、有価物品等の価格の推移でございます。

資料-3をお願いいたします。平成27年第2回定例会以降の状況についてご説明申し上げます。

B鉄以外の金属につきましては、6月に入札を実施し、7月以降の売却単価が決定いたしました。鉄類の単価は上昇いたしましたものの、アルミにつきましては大きく下落いたしました。本年、国際市場におけるアルミの大幅な供給過剰が見込まれておりますことから、国内市場におきまして需給バランスの緩和を招き、価格の引き下げにつながっているとされており、一気に回復することは難しいかもしれませんが、今後も市況を見ながら、適切かつ有利な価格で売却できるよう努めてまいります。

2件目は、「ふじみまつり」についてでございます。

資料-5をごらんください。日程でございますが、来る11月22日日曜日、午前10時から予定しております。これまで同様、地元協議会の有志及びふじみ衛生組合職員による実行委員会を設置し、準備を進めているところでございます。三鷹市、調布市をはじめとする行政機関等のほか、近隣大学や関連事業者のご協力をいただき、協働による親しまれる施設づくりに取り組んでまいります。

3件目は、花いっぱいプロジェクトについてでございます。

資料-6をごらんください。平成27年度の新規事業として、地元住民の皆様のご協力を得ながら、花のある施設づくりに取り組むものでございます。今年度につきましては、先ほどご紹介いたしました「ふじみまつり」を目指しまして、西側の道路沿いの敷地に花壇を設置するため、ボランティアを募り作業を進めることといたしております。ガーデニ

ングの専門家のご指導を受けながら、三鷹市、調布市両市の緑と公園課の協力も得て、協働で親しまれる施設づくりを実践してまいります。

なお、第1回のボランティア講習会は8月25日に開催を予定いたしております。

私からの報告は以上でございます。

○議長（田中久和君） 管理者からの報告は以上でございます。

ただいまの管理者の報告につきまして、質疑のある方は挙手をお願いいたします。

野村羊子議員。

○8番（野村羊子君） それでは、幾つか質問をさせていただきます。

基本的なところをまず確認したいと思います。クリーンプラザふじみのごみ処理実績で、総搬入量と総搬出量の差額、これは今、どのような形で処理されているのかということ、同じく、リサイクルセンターごみ処理実績の総搬入量と総搬出量の差はどうなっているのかということをも、非常に基本的なことを確認したいと思います。お願いします。

○議長（田中久和君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） まず、クリーンプラザふじみの総搬入量と総搬出量の差でございますけれども、クリーンプラザふじみにつきましては、焼却施設でございますので、ごみを焼却いたしますと、約10分の1の灰になります。ですので、総搬入量と総搬出量でかなりの差が出てくるものでございます。約10分の1近くに減っていると思います。それが原因でございます。

一方、リサイクルセンターの差ですけれども、これは幾つかの要因がございます。1つは、搬入した月にそのまま搬出しないで搬出そのものが翌月に回っているような場合。それから、雨が降りますと、どうしても水分を含んだごみが入ってまいります。それが搬出のときには乾きまして、軽くなるというような要因もございます。

以上でございます。

○議長（田中久和君） 野村羊子議員。

○8番（野村羊子君） クリーンプラザふじみに関して、焼却量と搬出量の両方を足しても、さらに総搬入量との差が出てくると思うんですけれども、それは分解されてなくなったという理解でよろしいのでしょうか。

○議長（田中久和君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） まず、焼却量と搬入量の関係でございますけれども、搬入した月に全量焼却できるというわけでもございません。そのときのごみピットにたまった

量によりまして、焼却をしたり、焼却をしなかったりしております。そういった全体の年間の焼却スケジュールがございますので、それに基づきまして計画的な焼却を行っております。

また、6月につきましては、全炉停止といたしまして、焼却炉を全部とめまして点検整備を行っております。

そのようなことから、差が生じているものでございます。

○議長（田中久和君） 野村羊子議員。

○8番（野村羊子君） わかりました。

そして、売電量ですけれども、売電金額が今回、売電業者をかえて単価が下がったということですが、これは多分入札をなされたと思いますけれども、全体的な傾向としてそういう結果になったという理解でいいのか。この単価が下がったことによって、事業者への影響、あるいはふじみ衛生組合の財政への影響というのはどのように考えているのか教えてください。

○議長（田中久和君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） まず、売電先でございますけれども、これは見積もり合わせを行いまして、一番有利な会社と契約をしております。ただ、日本全体の傾向として、電力が若干安くなっているという事実はございます。それで今回、ふじみ衛生組合のごみ発電に伴う売電単価についても若干単価が下がっているものでございます。

そして、これの影響でございますけれども、まず、3億5,000万円を下回った場合には、ふじみ衛生組合のほうにペナルティーが科されることもございます。ただ今回、3カ月で9,000万円の収入を得ておりますし、しかも、6月は全炉停止していた時期がございますので、年間を通じますと、3億5,000万円を超える十分な収入が得られると想定しているところでございます。

また、ふじみ衛生組合への影響でございますけれども、3億5,000万円を超えた分については、民間事業者7、ふじみ衛生組合3の割合で案分して収入をいただくというようなことになっております。ですので、ふじみ衛生組合にも影響がゼロではありませんけれども、今回の単価が50銭程度でございますので、大きな影響はないと考えているところでございます。

○議長（田中久和君） 野村羊子議員。

○8番（野村羊子君） ありがとうございます。

次に、容り法によるプラスチックの売却が増えたことによる焼却量の減ということも影響するのではないかと、リサイクルセンターとの関連で思うんです。けれども、これ、全体的に下がってきているのかな。この単価の変動、あるいは容り法による搬出が増えることによって、逆に焼却量が減る、この売電収入との関連で相関関係が出てくるのではないかと思います。それについて、今回、容り・プラスチックの搬出が増えたということをごどのように評価しているのかお伺いしたいと思います。

○議長（田中久和君） 井上事務局長。

○事務局長（井上稔君） 今のお尋ねですが、容り・プラに関しましては、これは無償で容り協会のほうへ搬出いたしております。これは我々としては循環型社会を形成する上では、プラスチックの資源化は必要だと思っております。財政面から考えますと、当然、焼却したほうが売電収入が入ってまいりますからよろしいわけですが、やはり循環型社会形成という1つの政策目的に従って我々としてはやっておりますので、そういう意味では、容り・プラスチックについてはできるだけ容り協会のほうへ搬出していきたいと考えております。

○議長（田中久和君） 野村羊子議員。

○8番（野村羊子君） わかりました。つまり、容り・プラに搬出できるようなプラスチックの分別の方法というものを、より今後進めるということで、両市に対してそれを要請していく立場であるということによろしいでしょうか、お願いします。

○議長（田中久和君） 井上事務局長。

○事務局長（井上稔君） はい。そのとおりでございます。

○議長（田中久和君） 野村羊子議員。

○8番（野村羊子君） ありがとうございます。それで、有償物が今、単価が下がってきていて、かなり低くなってきています。これによる収入予定というのはある程度見込んでいると思いますが、それとの関係で、今のところどの程度影響が出ると思うのかということについてお願いいたします。

○議長（田中久和君） 齋藤事務局次長。

○事務局次長（齋藤忠慶君） 私どもの当初予算のほうは、実は現状、昨年度の単価のおおむね約8割程度の単価で組んでいるところでございます。

また一方、7月期に近々のところで売却実績も出ておりますけれども、この中では、おおむね150万円ぐらいの前年比減ともなっておりますが、これも先のこ

とを同じような比率で踏まえて、前年度実績との減を見たときでも、当初予算のほうはクリアできていると読んでいるところでございます。

○議長（田中久和君） 野村羊子議員。

○8番（野村羊子君） わかりました。市場価格というのはこちらがコントロールできるものではないので、難しいとは思いますが、場合によっては、ほんとうにこのまま状況が下がっていけば、例えば、各市への負担を追加みたいなこともあり得るんだろうと思います。そういうことがないような主張は……、でも、こちらでコントロールできるものではないのでね。ただ、高く売れるような分別のあり方、持っていく方というのがあると思うので、その辺はきちっとやられていくんだと思いますが、その辺についての考え方をもう一回お願いします。

○議長（田中久和君） 井上事務局長。

○事務局長（井上稔君） 先ほどの容リ・プラとも絡みますけれども、やっぱりリサイクルするうえで問われるのは品質でございます。そういった面で、分別の徹底をお願いすると同時に、私ども中間処理施設としては、きちっとした品質で出せるような選別を行っていきたいという考え方でおります。

○議長（田中久和君） 野村羊子議員。

○8番（野村羊子君） ありがとうございます。

最後に、地元協議会の報告の中で、地元協議会に報告された環境測定結果ということがありました。これは、議会については今、報告はないわけですが、報告するようなものではなかったという理解でよろしいでしょうか、お願いします。

○議長（田中久和君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原正樹君） おかげさまで3年目に入りまして、水銀等含めまして、全て基準値以内におさまっております。そのような関係から、議会についてはご報告していないというような状況でございます。

○8番（野村羊子君） じゃあいいです。

○議長（田中久和君） よろしいでしょうか。

○8番（野村羊子君） はい。ありがとうございます。

○議長（田中久和君） ほかに質疑ありませんでしょうか。いかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○議長（田中久和君） よろしいでしょうか。以上で質疑を打ち切ります。

以上、3件は報告のとおり、ご了承をお願いしたいと思います。これにご意義はありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(田中久和君) ご異議なしと認め、管理者報告のご了承をお願いいたします。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

それでは、これで会議を閉じます。

これにて平成27年第3回ふじみ衛生組合議会定例会を閉会いたします。本日は大変お疲れさまでございました。ありがとうございました。

午前10時22分閉会

以上会議の顛末を書き、その相違ない
ことを証するためここに署名する。

平成27年8月17日

ふじみ衛生組合議会議長

田中久和

ふじみ衛生組合議員2番

宮本和実

ふじみ衛生組合議員6番

寺井均